

# チャレンジ農業支援センター 支援事例集

SUPPORT CASE  
2016  
→  
13 EXAMPLES

## 2016 Support Case Examples



**チャレンジ農業支援センター**  
〒190-0013 東京都立川市富士見町3-8-1  
TEL.042-524-3191 FAX.042-522-5398



財団法人 東京都農林水産振興財団

Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries



ぬくい果樹園 西野農園 宮崎園 高野養鶏場 拝島ねぎ保存会



『チャレンジ農業支援センター』  
とは?  
14

2016 Support Case Examples



田倉農園 榎戸農園



網野農園 加藤農園



東京うこっけい 生産組合 五十嵐農園



樹木の会 伊豆大島 農業生産組合



ぬくい果樹園 - 西東京市 -

## 果樹園をPRする 看板とホームページの制作



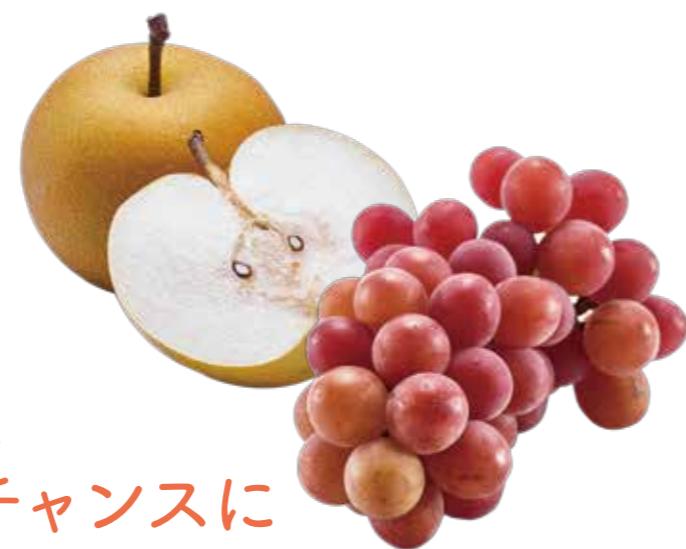
ぬくい果樹園

### 相談内容

梨とブドウの栽培を中心に営む「ぬくい果樹園」は、果物の生産と共に直売所の経営にも取り組む自立型農業を手掛けており、地域農産物のブランド化を図る活動実績も多数あります。

最近は新たに導入した盛土式根圈制御栽培法によって生産量の増加が見込まれ、直売所に面した道路の拡張により販売の環境が好転しました。

そこで直売所をより多くの人に認知してもらうために看板の設置とホームページの作成についてのご相談をいただきました。



直売所の環境変化が、販売強化への大きなチャンスに



### 支援内容

看板のデザインには、2015年度のチャレンジ農業支援にて作成したカラフルな果物がモチーフのロゴマークを活用し、直売所の側にある大通りを通行する車からも目を引く場所に設置しました。

ロゴマークは果樹園のホームページにも利用しており、果樹園で生産されたみずみずしい果物の写真と共に全体的に穏やかな雰囲気を醸し出すページを作成しました。

今後ぬくい果樹園では晩秋・冬の果樹などを生産して通年営業を開始する予定のため、インターネット販売用のECサイトも立ち上げました。

直売とECサイトを利用した販売強化に関するアドバイスも実施しております。



直売と  
ECサイトを活用して  
販売強化を



## 西野農園 - 国立市 -

### 販路開拓のためのロゴマークと販促物の制作



#### 相談内容

西野農園を営む西野家は江戸時代から13代受け継がれている農家で、江戸城に野菜を届けていたという歴史を持っています。

農総研にて営農研修を受けた代表の西野氏は、これまで農園内の直売所のみにとどまっていた農作物の販路を拡大し、50品目にも及ぶ西野農園の野菜を国立野菜として積極的にアピールしていきたいと考えています。

今後国立市内の農産物直売所やスーパーへの出荷を交渉するにあたって、農園のPRに必要なロゴマークや名刺、のれんなどの作成に関するご相談をいただきました。



## 国立野菜を知ってもらうために生まれ変わった農家の家紋



#### 支援内容

歴史ある農家を象徴する西野家の家紋をロゴマークのデザインに取り入れたいとのご希望から、「三つ盛り亀甲に花菱」の家紋をロゴマークに活用しました。

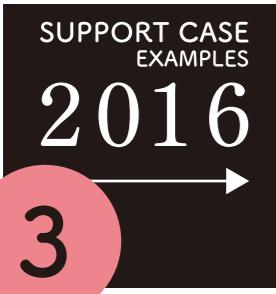
「三つ盛り亀甲に花菱」の紋様を、野菜の旬を意味した「旬」の文字に組み入れ、紺色をベースに春夏秋冬を現す4つの色がポイントとなったシンプルなロゴマークが完成しました。

このロゴマークは袋詰めした野菜に貼るシールや名刺、農園内の直売所に設置するのれんに使用されています。

他にも、ロゴマークをあしらったTシャツの提案や、商品のパッケージを含めたブランディング、販売戦略のアドバイスもしています。

「旬」の文字と  
春夏秋冬を現す  
4つの色がポイント!





宮崎園 -府中市-

## 焼き菓子ブランドのロゴマークデザインと販促物作成



### 相談内容

宮崎園は過去に東京都知事賞を受賞した梨をはじめ数種の果物を生産しています。

昨年半ばより奥様が趣味の菓子作りを活かして焼き菓子の製造を開始し、ブランド名を付けた焼き菓子の販売を考えていました。

初めての菓子販売で具体的な販促の仕方が分からず、特に菓子の包装に関わるノウハウやパッケージの内容などのアドバイスを必要としていました。

同時に、宮崎園から出荷する果物に添付するラベルを、ロゴマークのデザインと併せて作成するご相談もいただきました。

ホームメイドの焼き菓子をお届けするのに大事なプロセス



リボンをモチーフにした文字とバラのイラスト



### 支援内容

まずは菓子ブランド名「Chez Rose(シェ・ローズ)」の文字をリボンのモチーフにして、バラのイラストと組み合せた「ちょっとした贈り物」というテーマのロゴマークを完成させました。

このロゴマークを使った商品シールを2種類と、奥様の似顔絵入りリーフレットも作成しました。

シールのデータは自分で加工できるものを提供し、包装資材サービスの紹介や包装に関する指導も行いました。

一方宮崎園のロゴマークは、梨の実と宮崎園の「み」の字を合わせた落ちていたものに仕上げ、果物と同様して使用するロゴマークの入りの「くだものカード」を作成しました。

将来「Chez Rose」ブランドの菓子に宮崎園で生産した果物を使用することも検討されています。



SUPPORT CASE  
EXAMPLES

2016

4

## 高野養鶏場 -府中市-

食品加工場の設置アドバイスと  
自動販売機・直売所のポスター作成相談  
内容

創業90年の歴史がある高野養鶏場では、東京都知事賞を何度も受賞するなど高品質な卵を生産しています。

現在、地域で大変人気のある卵は養鶏場の自動販売機で販売されており、府中市内の共同直売所にも出荷されています。

卵の直売比率を向上して売り上げを伸ばすために、自動販売機での販売を強化したいとのご相談をいただきました。また、卵を試作で人気のある蒸しパンやプリンなどを加工品として販売するために、製造許可を取れる加工場の設立支援のアドバイスのご相談をいただきました。

**都知事賞受賞の卵を、  
産みたての状態で届けたい**

支援  
内容

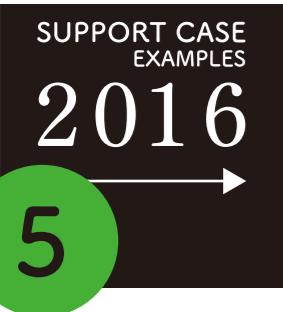
作業場の道路沿いに設置されている自動販売機に看板などではなく、ここで卵が販売されていることが通行人からはわかりにくい状況でした。そこで自動販売機の存在が視覚的にもすぐにわかるよう卵の写真入りポスターの作成を提案しました。産みたて卵の新鮮さを醸し出す、かごに入った卵の写真と卵かけご飯の写真を採用し、品質をアピールする東京都知事賞受賞のメダルマークを入れ、自動販売機貼り付け用と直売所での掲示用の2種類としました。

また、高野養鶏場では卵を使った蒸しパンの製造販売を希望され、試作品も大変好評だったため、製造販売許可の取れる加工製造場所の設置についてアドバイスを行いました。製造所が完成後販売したところ、大変売れ行きも良く、今後さらに販売量の増加が見込まれます。

新鮮さと  
品質をアピールする  
2種類のポスター

高野養鶏場





## 拝島ねぎ保存会 - 昭島市 -

拝島ねぎのロゴ、  
出荷袋やのぼり旗のデザイン



拝島ねぎ保存会

### 相談内容

拝島ねぎは昭和初期に栽培が始まった昭島市の伝統的な野菜です。

新品種の普及により一時期生産が減少していましたが、平成24年に復活栽培が行われて現在では東京産のブランド野菜である「江戸東京野菜」に認定されています。

柔らかい性質により栽培に手がかかり、熱を通すと甘味と柔らかさが増す拝島ねぎは、小売店や購入者から非常に高い評価を受けています。また消費者からの認知度は低い状況です。

拝島ねぎの認知度を向上するために、パッケージやチラシなどの販促ツール作成についてご相談をいただきました。

よみがえった伝統の拝島ねぎを  
次の世代にもつなげたい



拝島ねぎ  
保存会  
AKISHIMA



### 支援内容

まずは販促ツールにプリントするロゴマークを制作し、ねぎを入れる出荷袋とのぼり旗にロゴマークを展開しました。

ロゴマークに高級感を出すことで、丹精込めて育てられた価値の高い拝島ねぎというイメージが伝わるようにしました。

内部が墨りにくい素材の出荷袋に入ったねぎは、見た目にもプレミアムな逸品と呼ぶに相応しい商品になりました。

ロゴマークのデザインをベースに拝島ネギの魅力や特徴を記したのぼり旗は、イベント時に掲示されます。

高級感を  
演出するデザインを



拝島ねぎ保存会



田倉農園 - 西東京市 -

## 販路拡大につながる ホームページの作成依頼



### 相談内容

小金井公園の北側にある田倉農園は、小松菜やトマトなど約20品目もの野菜を、主に学校給食や都心のレストラン・老人福祉施設へ提供しています。

化学的な肥料や農薬の使用を最低限に抑え、こだわりの自家製堆肥をバランス良く与えて育てた野菜は、学校給食に30年間提供される実績を持つほど、品質と安全性の高さに定評があります。

野菜の販売先は業務用の取引先が90%を占めているため、今後は業務用販路の拡大を促進し、さらに一般向け家庭野菜の割合を伸ばす目的で、販路拡大につながるホームページの作成依頼をいただきました。



## 美味しい安全な野菜を 手間暇かけて丁寧に育てています



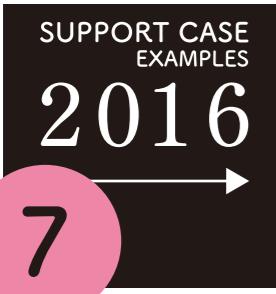
### 支援内容

農園のこだわりと生産者の強い想を伝えることができ、営業活動時の支援ツールとしても利用できるホームページを目指して、クローズアップ写真を多数用いた訴求効果の強いホームページを作りました。

以前から代表が運営していたブログはfacebookへ移行し、農園の様子をこまめに発信することで信頼性の向上も見込めます。

更に個人と法人の両方に農園をアピールできるよう、子供向けの食育ページや大口契約者向けの農園情報ページを充実させる予定です。

**写真を多用した  
ホームページと  
SNSで情報発信**



榎戸農園 - 八王子市 -

## 地場産の切花をPRするロゴマーク入りシールの作成



### 相談内容

キクやアスター（エゾギク）を中心とした花と数種の野菜を栽培している榎戸農園では、地場産の花を道の駅などに出荷しており、正月やお盆、お彼岸などにはほとんどの花を売り切っています。

道の駅では他の農家が自家で栽培していない花と一緒に販売されているため、榎戸農園の地場産にこだわった花と区別して販売したいと考えていました。

花のクオリティーの高さもアピールしたいこともあって、榎戸農園産の花がすぐ分かるようなロゴマークを作りたいというご相談をいただきました。

地元で育った良質な花を手に取ってもらいたい



植物の芽を  
モチーフに  
一目で分かるロゴ!



### 支援内容

ロゴマークは出荷する切花に添付するシールに使用するため、覚えやすく目立つデザインのものをいくつか提案しました。

試作したシールを花束に貼り、花束が並んだ時の見え方や値段のシールも貼られたときのバランスなどを考慮しながらロゴマークを決定しました。

種から丁寧に心をこめて育てられた切花をイメージした植物の芽をモチーフに、ハートにもリボンにも見えるロゴマークで榎戸農園の花が一目で分かるようになりました。

今後はロゴマーク付きの花で他の生産者の花と差別化を図り、リピーターの獲得も目指しています。

SUPPORT CASE EXAMPLES  
2016 →  
8

## 網野農園 - 立川市 -

### オリジナルの農産物を紹介するロゴマークとホームページの作成



#### 相談内容

網野農園ではトマトやナス、大根など季節に合わせた多品種の野菜と切り花を生産し販売しています。

中でも新しく栽培を開始したエディブルフラワーという食用の花は、ケーキやサラダなど料理の飾りに用いられることで最近注目を浴びています。

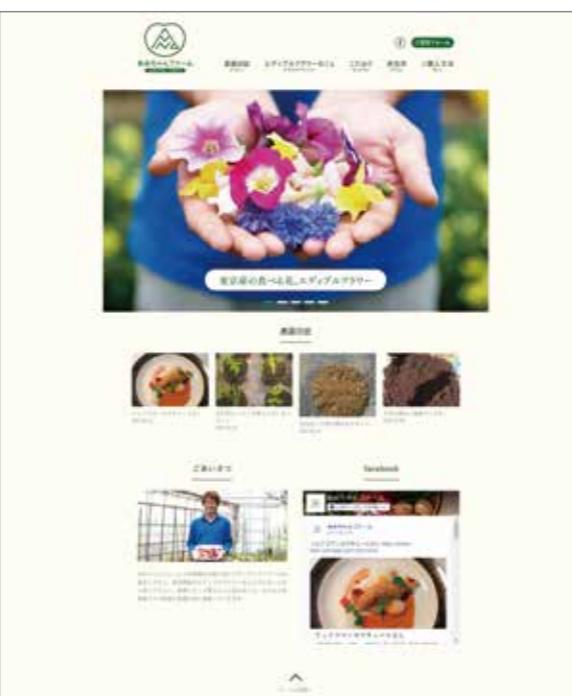
東京でエディブルフラワーを生産する数少ない農園として、エディブルフラワーの宣伝および、ネット販売を視野に入れた販路拡大のためのホームページ作成をご依頼いただきました。



ここでしか手に入らない、東京育ちのエディブルフラワーを広めたい



シンプルなロゴと  
写真で魅せるホームページ!



#### 支援内容

今回の支援で、農園名を「網野農園」から「あみちゃんファーム」に変更しました。あみちゃんファームの認知度アップにより効果のあるホームページにするため、初めに農園のロゴマークを制作しました。可愛らしい農園のイメージをベースに、エディブルフラワーと組み合せて使えるようなシンプルな形のロゴマークに仕上げました。

エディブルフラワーがメインのホームページにはロゴマークの緑色を基調に、美しさや可愛らしさを意識したエディブルフラワーや、新鮮さが伝わる野菜の写真を沢山取り入れています。

また、今後、力を入れていくエディブルフラワーのPRに使用するロゴマーク入りの名刺、のぼり旗、ゴム印などの販促用ツールも作成し、今後地域のイベント出展時に役立てる予定です。



SUPPORT CASE  
EXAMPLES

2016

9

加藤農園 - 練馬区 -

## 東京産のオリーブを使った新商品のパッケージデザイン



### 相談内容

野菜の生産と直売を行っている加藤農園では、4年前からオリーブの無農薬栽培を始めて、果実が収穫できるようになりました。

元々オリーブが苦手で食べられなかった代表が、多くの人に食べてもらえるオリーブの生産を目指して、オリーブを使った新商品作りを手掛けています。

乾燥したオリーブの葉で作るオリーブ茶と、オリーブの実を塩水で漬けた「オリーブドルチェ」という加工品の販売を促進するために、パッケージデザインの作成支援をご依頼いただきました。



みんながおいしく食べられる  
オリーブを作りたい



東京らしさを  
デザインしたパッケージ



### 支援内容

「オリーブ茶」のパッケージは代表の希望に沿って、東京らしさのある都会的でスタイリッシュなデザインのステッカーを、ティーバッグの袋詰めに貼るスタイルとなりました。

「オリーブドルチェ」のパッケージはオリーブ茶のステッカーをアレンジしたものです。「オリーブドルチェ」は「オリーブの新漬け」として販売する予定でしたが、新漬けは小豆島の商品として定着していたので、「オリーブドルチェ」に変更してパッケージにもこの名前を反映させました。

また、加藤農園ではマルシェへの出品も積極的に行っているため、これらのオリーブ加工品を出品する時に使用するリーフレットの制作も行いました。

SUPPORT CASE  
EXAMPLES  
2016 →  
10

## 東京うっこけい生産組合 - 八王子市 -

### キャラクターロゴマーク およびパンフレットの作成



東京うっこけい生産組合

#### 相談内容

烏骨鶏とは嘴、皮膚、骨、内臓が黒いニワトリの一種で、古くから中国では薬膳料理や漢方薬等に用いられ珍重されてきた品種です。週に1個程度しか生まれない烏骨鶏の卵は、デパートでは1個500円にも及ぶ高級品として販売されています。

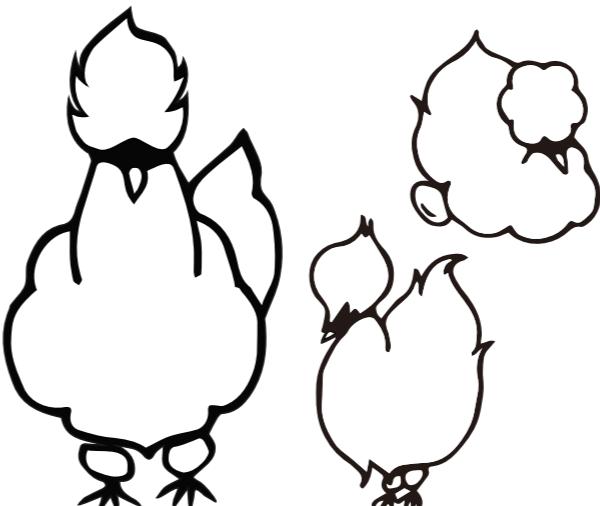
生産者の「希少な烏骨鶏の卵をより身近に楽しんではほしい」との想いから、年間190個程度まで産卵できる品種に改良した「東京うっこけい」が誕生し、卵の品質はそのままに1個100円程度で提供できるようになりました。

卵だけでなく食肉としても加工できる「東京うっこけい」をもっと広く都民に知ってもらうために、キャラクターロゴマークの作成とパンフレットのリニューアルをご依頼いただきました。

**特徴をとらえたキャラクターロゴマークで  
「東京うっこけい」をアピール**



特徴をとらえた  
キャラクター



#### 支援内容

ロゴマークに使用する烏骨鶏のキャラクターには、ニワトリよりもフワフワとした羽毛に覆われて頭や脚の周りにも羽毛が生えている烏骨鶏の特徴を分かりやすく表現したイラストをいくつか提案しました。

羽毛のシルキーな質感や顔部分の黒色を配色するバランス、脚周りの羽毛など写実的な要素を加えながら、烏骨鶏らしさが出たキャラクターロゴマークに仕上りました。

内容が古くなっていたパンフレットは掲載する商品の差し替えや、うっこけいの写真的撮り直しを行い、作成したロゴマークを取り入れたデザインで装いも新たになりました。

採用されたキャラクターロゴマークはジャンパー、のぼりのデザインに使用され、パンフレットと共に直売のイベントなどで活躍しています。

東京うっこけい生産組合



## 五十嵐農園 - 練馬区 -

### 農園の看板と 野菜の販促ツールの作成



#### 相談 内容

五十嵐農園では大根などの根菜類をはじめエダマメやトマトなどの実物、小松菜や白菜といった葉物野菜まで多品目の野菜を栽培し、直売所で販売しています。

昨年度にチャレンジ農業支援にて作成した農園のホームページが大きな効果を発し、直売所の売り上げがアップするとともに、年に2回開催している収穫体験イベントの告知も効率的に行えるようになりました。

今回は直売所のPRを強化するために、老朽化した看板のリニューアルと野菜のパッケージやのぼり旗の作成をご依頼いただきました。



ホームページだけでは伝えきれない  
農園の魅力を体感



全てのツールに  
URLを記載して  
連携を



#### 支援 内容

看板にはホームページで使われているロゴマークを活用して、ホームページのブランドカラーと統一感を持たせた緑色がベースのデザインを提案しました。

直売所の看板をリニューアルするだけでなく、畠の入口にもマップ入りの看板を新設して直売所へ誘導できるようにしました。

販促ツールは看板と同様のデザインで、出荷袋とのぼり旗、名刺を作成しました。

出荷袋は中に入れる野菜との色合いを考慮し、白い文字が入った袋にロゴマーク入りのシールを貼る仕様となりました。

また、看板と全ての販促ツールに農園のホームページのURLを記載し、ホームページとの連携を図ることで集客率の向上も見込まれます。



SUPPORT CASE EXAMPLES  
2016 →  
12

## 樹木の会 - 練馬区・板橋区 -

### 農業後継者団体のキャラクター入りロゴマークと販促物の作成

#### 相談内容

樹木の会は練馬区と板橋区の農業後継者からなる団体で、30代～40代を中心の会員は野菜から園芸まで様々な農産物を栽培しています。

昨年に設立50周年を迎えた樹木の会は、これを機に会のロゴマークを作つて共同事業などでのPRに使いたいと考えていました。

そこで同年の秋に行われる記念式典での公開に向けて、ロゴマークと販促物制作のご依頼いただきました。



#### 支援内容

会員からの、キャラクター入りが良いとの意見や、今後は野菜に貼るラベルやのぼりなどの販促物にも展開できるようなロゴマークにしたいという要望をもとに、野菜、果樹、園芸のイメージを取り入れたキャラクター入りのロゴマークを作成しました。

このロゴマークが印刷された袋と会員が着用するキャップおよびジャンパーは、会が主催する即売会や近隣地域のマルシェ出品の際に活用され、樹木の会のPRに効果的な役割を果たしています。

設立60周年を迎える頃には、キャラクターの着ぐるみも作つてみたいとの話も上がっています。



50年目に誕生したキャラクターが農業を盛り上げる

SUPPORT CASE EXAMPLES  
2016 →  
13

## 伊豆大島農業生産組合 - 大島町 -

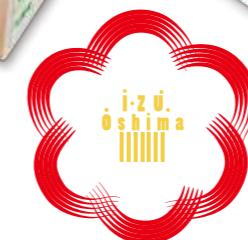
### 運営団体の変更に伴うパッケージデザインのリニューアル

#### 相談内容

平成28年1月にJA東京島しょ伊豆大島支店が閉店したため、業務の一部を引き継いで実施する団体として一般社団法人伊豆大島農業生産組合が結成されました。

伊豆大島の生産者団体として市場出荷を行っていくことになったことから、伊豆大島産を強くPRしていくために新しい出荷箱と出荷袋を作ることになりました。

伊豆大島では品目ごとに出荷事情が異なることから、まずはまとまった出荷の多い特産物であるアシタバの出荷袋と出荷箱のデザイン作成と、印刷までのアドバイスに関するご相談をいただきました。



伊豆大島へ行きたくなるようなイメージ作りを目指して



#### 支援内容

始めにアシタバの出荷袋と出荷箱に印刷する、伊豆大島農業の共通ロゴマークを提案しました。

買い物客から手に取つてもらい、伊豆大島ファンの獲得に繋げられるような、斬新で洗練されたデザインのロゴマークを完成させました。

出荷袋は、アシタバの緑色を綺麗にみせるオーシャンブルーの図柄をロゴマークと共に施しました。

出荷箱は蓋の開閉部分にまたがつて横書きで印字されていた文字やデザインを縦書きに変更し、蓋を閉めるときに左右の文字がずれるという不都合を解消しました。

また、引き続き、サヤエンドウや花きの出荷箱の制作を行っています。





## チャレンジ農業支援センターとは

東京の強みを活かした魅力ある農業経営の展開を図るために、経営改善にチャレンジする意欲ある農業者、そのグループ及び団体に対して、新たな取組への支援を行います。専門家派遣や経費補助を連携して行い、東京農業の産業力を強化します。

## 支援の内容

### 相談

農業者のみなさまが、現在の経営の改善や新たな経営へ挑戦する際に相談したい、アドバイスが欲しいことについて、センターのスタッフが直接訪問するかセンターで話をうかがい、解決のためのサポートを行います。また、相談の内容により、普及センターなどの関係機関と連携してサポートを行います。

### 専門家の派遣

センタースタッフとの相談で明らかとなった課題を解決するために、申込みいただいたみなさまのところに適切な専門家を派遣して、直接アドバイスを行います。

※専門家は5回まで派遣が可能で、費用は無料です。  
※専門家の派遣に際してはセンタースタッフが原則同行します。

### 講演会の開催

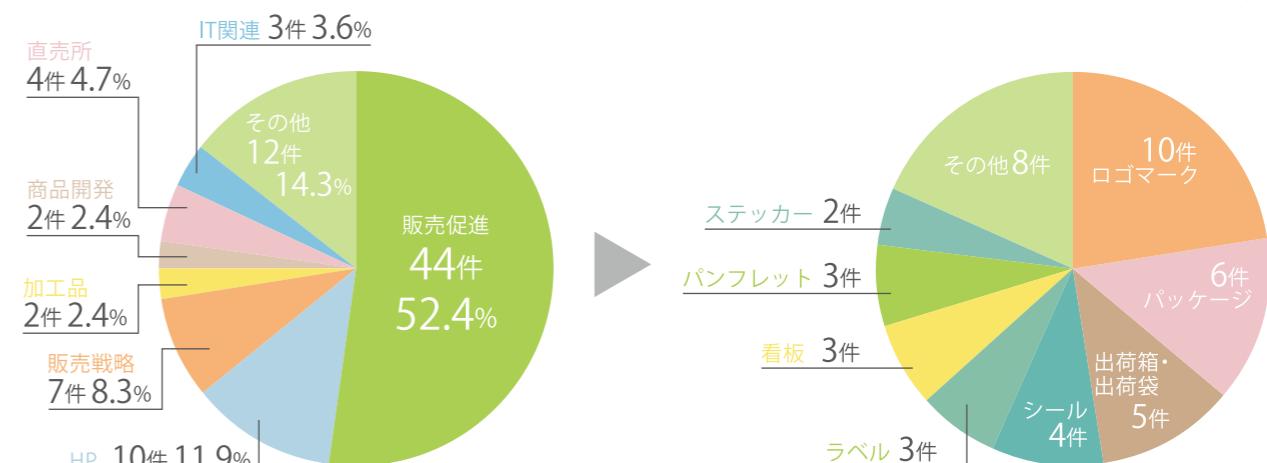
独自の創意工夫により新しい農業経営を実現している農業者の方などを講師に招いて講演会を開催します。

## 事例について

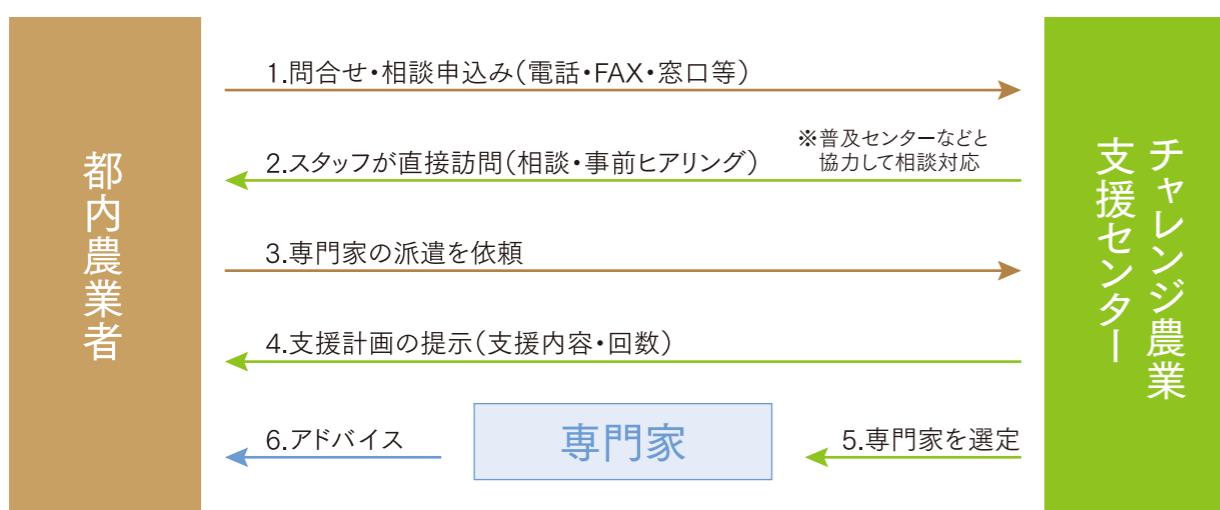
- 加工品開発のための支援
- 農産物のパッケージやシールのデザイン
- ホームページ・ブログ・SNS等の活用支援
- 農産物のブランド化に向けての支援
- 直売所の見直しと今後の運営改善の検討
- 直売所、農家レストラン開業などへの支援

## 平成28年度 派遣内容別分類と販売促進の内訳について (平成28年12月末実績)

平成28年度の派遣内容別の分類と販売促進の内訳です。



## 支援の流れ



### 申し込み方法

- センターに直接おいでいただきか、電話でお問い合わせください。
- ※センタースタッ夫が訪問相談の日程や進め方などを調整します。  
なお、相談や事前ヒアリングの結果、専門家を派遣できない場合があります。